

社会 一郎
Ichiro Shakai

1 はじめに

資料は、修士論文の **Extended abstract** です。指導教員および 2 名のアドバイザーに事前に送付して読んでいただきます。評価シートの評価はこの資料および試問会における発表に基づいて行われます。また、資料は専攻内で電子的に閲覧可能な状態とし、試問会当日には会場に回覧資料として配置します。

2 原稿作成の概要

2.1 表題

2.2 構成

修士論文の Extended abstract として、研究の背景、目的、方法、現在までに得られている結果とそれに関する考察、修士論文作成までの予定などを記述すること。冒頭には要旨を記載すること。

2.3 使用言語

日本語または英語

2.4 ページ数

8 ページ以上

2.5 用紙サイズと段組・レイアウト

A42 段組 (レターサイズや 1 段組は不可)

ただし、要旨は1段組とすること。

マージン

上マージン 30 mm

下マージン 27 mm

左マージン 18 mm

右マージン 18 mm

コラム間はマージン 7 mm を目安とする

表題、著者名、所属の配置は見本に従うこと。

ページ番号はつけない。

指導教員:

2.6 フォント

英文：Times, Times New Roman など

和文：MS 明朝・ヒラギノ明朝など明朝フォントを使用すること。

2.7 文字サイズ (厳守) と行間

文字サイズ

表題 12 ポイント

著者名 105 ポイント

本文見出し 10.5 ポイント

本文 10.5 ポイント

行間

シングルスペース (行間 1 行)

2.8 所属の表記方法

所属: [講座名]・[分野名]

指導教員: [指導教員名] とする。

例: 社会情報モデル講座・分散情報システム分野
指導教員: 吉川正俊

1 ページ目左下に記載すること。

2.9 写真や画像の解像度

PDF を作成する際に写真や画像の解像度が低くなりすぎないように注意すること。例えば Acrobat Distiller を利用する場合、標準の設定では画像の解像度が低くなりすぎる場合があるので注意すること。300 DPI 以上の解像度を目安にすること。

2.10 カラー画像などについて

カラーの使用に制限はありません。ただし、試問会当日に会場で回覧される資料はモノクロで作成されます。

2.11 ファイルの形式

原稿は任意のツールで作成してよいが、最終的にはPDFファイルとして提出すること。

3 資料提出の概要

3.1 提出方法

原稿を作成要領に従って作成した後、PDF ファイルを作成し、京都大学学習支援サービス PandA (<https://panda.ecs.kyoto-u.ac.jp/portal>) を通じて提出

して下さい。PandA にログイン後、「2022 社会情報学専攻」の課題として添付して下さい。ファイルサイズは 10MB を超えないようにして下さい。

3.2 ファイル名の付け方

提出するファイルのファイル名は以下のよう
して下さい。

<LastName>_<FirstName>.pdf

例) Shakai_Ichiro.pdf